

3月17日には、家老渡フェリー社長と何度目かの直接協議を行い、航路維持の方向性が決まりました。さまざまの方々から存続の要請がありましたが、これからの重要な期間です。皆さんの生活を支えてくれているインフラを維持するためにも、今後は要請だけではなく町民の皆さんの有形の協力をお願いいたします。

3月20日、高井神島の漫画学校を訪れていたノルウェースタディーツアーの専門学生20名の歓迎会を弓削島で実施しました。弓削高校の学生とのプレゼント交換や班ごとに分かれての島内散策などにより、豊かな国際交流につながりました。

漫画学校のおかげで、高井神島には移住者や訪れる人が増えています。町民の皆さんも高井神島に2度訪れるなど、盛り上げて頂きますようよろしくお願いいたします。

3月22日には鬼北町で「シクロクロス大会」に参加し、小雨の中、マウンテンバイクでぬかるみのコースを走ってまいりました。

3月23日、新生児誕生記念品贈呈式を開催し、例年より多くのお子様感激いたしました。これからも私たちの町が、子育てしやすい環境であり続けられるよう、全力で取り組んでまいります。

3月30日、フェスバがグランドオー

ブンし、オールインクルーシブをはじめ、新たな歩みを始めましたので、町民の皆さまの積極的な活用をお願いします。

令和8年度から、子育て支援を目的として、上島町でも小学校の給食費無償化が開始されました。

物価高騰や給食日数の変動で影響を受ける可能性はありますが、今後も国からの交付金活用による、保護者負担なしの給食提供を継続してまいります。

物価高騰対策として4月15日から配送を開始した「かみじま生活応援商品券（第4弾）」につきましては、長期不在のお宅を除いて5月1日には町民の皆さまのお手元に届けさせていただきます。

本商品券は、町民の皆さまの生活支援と、町内事業者の活性化を目的としたものであり、日々の生活の中でご活用いただくとともに、町内での消費による経済活性化につながるものと考えています。

4月1日の年度始めの全体課長会においては、私の選挙公約である①思いやりのある町づくり、②活力あふれる町づくり、③心豊かな町づくり、④自立する町づくり、が私のビジョンであることを再確認しました。

また、その公約を実現することは町長の重要な責務であり、職員の皆

さんには、町民代表の公約を形にするのも職務のひとつであることをお伝えし、上島町の職員として誇りを持ち、よりよいまちづくりと町民生活の環境改善に尽力してほしいとお願いしました。



4月3日には愛媛県庁や関係機関を、10日には高松の整備局や運輸局・財務局などへ、15日からは東京において各省庁や国会議員、延べ99箇所・180人（県関係40箇所・76人、四国関係23箇所・33人、国関係36箇所・71人）へ新年度の挨拶回りを兼ねて情報収集や要望活動を行いました。

4月4日は、因島医師会病院と因島総合病院統合記念式典および新棟落成式に出席しました。新体制の因島医師会病院は、外来診察室、透析室などの病棟を新築され、常勤医師は9人から16人へと増員されました。

診療科目は、新たに腎臓内科、小児科、歯科口腔外科、リウマチ・膠原病科の4科が加わり、夜間救急体制も午後5時から午後8時まで対応

議」また令和8年度末に期限を迎える「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」の早期改正・延長実現に関する特別決議

などが議決され、今後は都道県支部・市町村提出議題とともに、関係省庁等に対し要望活動を行います。

続いて、第三セクターの令和7年度の運営状況ですが、まず株式会社いわぎ物産センターは全部門で昨年度を上回り、売上高1億5794万円、対前年比107.04%でした。

しかしながら、物価高騰の影響や中東情勢を受けて今後の石油製品の供給不安や更なる価格高騰の恐れがあることから、必要資材の先行購入を行うなど経費が増加したため、当期純利益は約49万円となりました。

次に株式会社いきなスポレクについてですが、スポレク職員の懸命な努力により、売上高2805万円となり前年度を約430万円上回りました。営業利益は物価高騰の影響を大きく受けておりますが、売上高増加にともない約360万円の黒字となっております、令和4年度から継続して安定した黒字経営が行えています。

しかし、30年間の返済契約をしておしまっている借入金が未だ2151万円残っている状況であり、これが経営の足枷になっておりますので、引き続き

していただけることになりました。

外来や救急体制の充実などご配慮いただいた藤井医師会会長や山本医院長をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に心から感謝を申し上げます。

5月11日には、昨年4月から閉鎖されていた岩城診療所が、岩城島診療所として再開することになりました。次田医師が理事長の社会医療法人「心海会（ここみかい）」が新たに運営主体となり、現状では次田医師を含む5名が交代で診療にあたります。これからは初期診療や、高齢者や持病患者の継続的な健康管理が更に充実することで、地域の安心感が高まるものと期待しています。

5月14日から15日にかけて、国の令和9年度予算に間に合うよう、上島町の現在と未来の課題をしっかりと網羅した「令和9年度上島町の施策等に関する要望書」を、前田議長にも御同行いただき、国土交通省、総務省、環境省などの各省庁や愛媛県選出国会議員など49名へ配布の上、陳情活動を行いました。

その内容は、
①観光産業推進事業の支援について
②ゆめしま海道周遊観光の推進における道路施設整備について
③「島」と「海」を結ぶ賑わい空間施設の整備について
④移住・定住促進および関係人口創

き、利用促進、経費削減に努めてまいります。

さて、今回上程している一般会計補正予算ですが、主な新規事業のうち、岩城診療所備品購入事業は、診療を再開した岩城島診療所で使用するレントゲン装置の老朽化により、更新するものです。

結びに、2月17日に逝去された台湾ジャイアント社劉会長の冥福をお祈りいたします。

劉会長はジャイアント社の創設者で、自社を自転車メーカーとして世界トップに成長させただけではなく、愛媛県との交流を最も大切にされた方です。

自転車単なるスポーツではなく、「友情」「健康」「生きがい」を産む手段と位置付け、上島町にも多くのインバウンドのお客様を導いてくれた貢献者でもあります。

そのご縁から、台湾政府の交通部観光署（政府観光庁）からご招待をいただき、6月2日から4日まで開催された、世界自転車デーに、「しまなみジャパン」の二員である上島町も、参加してまいりました。

台湾北部の野柳地質公園管理事務所において、観光署日月潭管理所長の王智益（オウチエキ）氏、（同署）北海岸管理所長代理の呉健志（ゴケンシ）氏などと、観光行政について意

出への支援について

⑤民間離島航路への支援について

⑥離島における燃油類の格差是正について

⑦海業・水産業への支援について

⑧歴史文化遺産の調査と保存・活用について

⑨脱炭素社会に向けた支援についてです。

5月17日には、愛媛県総合運動公園で開催された「第76回全国植樹祭」に出席しました。本県での開催は60年ぶり2回目となり、式典には、天皇皇后両陛下のご臨席を賜るとともに、県内外から多くの参加者を迎え、記念植樹が行われるなど盛大に開催されました。

また、本町からは、長年にわたり桜の植樹活動に尽力してこられた「岩城寿会」「岩城老友会」に、第76回全国植樹祭愛媛県緑化等功労者知事感謝状を授与されました。多年にわたる地道な活動が高く評価されたものであり、深く敬意を表しますとともに、多大なるご貢献に対し、心より感謝申し上げます。

5月26日、全国防災協会総会。5月27日、港湾海岸防災協議会通常総会、日本港湾協会定時総会。5月28日、全国治水砂防協会総会。5月29日、愛媛県離島振興協議会定時総会。第43回国民文化祭。第28回全

国障害者芸術文化祭愛媛県実行委員会設立総会。に出席しました。

5月31日には、「上島町総合防災訓練」を実施しました。

岩城小学校では、避難所開設訓練と連携して、陸上自衛隊により炊き出しによるカレーの試食に加え、レンジャー体験コーナーを設けていただき、子ども達を楽しませていただきました。

上島町としては、毎年行う防災訓練において、常に新しい取り組みを行い、町の課題を洗い出し、防災意識の高揚や、関係機関との連携を深めながら、災害に備えてまいります。

6月1日に長崎県新上五島町において、加藤電祥国土交通省大臣政務官、金子容三内閣府大臣政務官、山本啓介農林水産大臣政務官、勝俣孝明自由民主党離島・半島特別委員会委員長、古賀友二郎自由民主党領土に関する特別委員会委員長、谷合正明公明党離島振興対策本部長、西岡秀子衆議院議員、平田研長崎県知事をはじめとする数多くの来賓の出席をいただき、令和8年度全国離島振興協議会通常総会が開催されました。

この総会では、離島振興法関係五法の趣旨による離島航路への補助拡充などの「令和8年度全国離島振興協議会通常総会決議」や「離島交通政策の抜本拡充に関する特別決